

建設産業委員会会議録

平成25年4月25日(木)

午後1時00分 開会

○山本半治委員長

ただいまから、建設産業委員会を開会します。協議題1、閉会中の調査事項についてを議題とします。当局から知多南部卸売市場株式会社について資料をいただきましたので、その説明をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○丹羽英行農務課長

【資料に基づき説明】

○山本半治委員長

ありがとうございました。ご質疑等ございませんか。

【発言する者なし】

資料を受けて作成をした、委員会報告案について説明をさせていただきます。

【報告案について要旨を説明】

前回の皆様の意見の中から、書かせていただきましたが、これからどのようにこの委員会として提言していくかということを、議論していきたいと思いますので、よろしくお願いします。ご意見があれば、お願いします。

○新美保博委員

先ほど聞けばよかったんだけど、資料の確認をしたい。資料2を見てもらおうと、今まで1億4,000万円あまりの補助金を出しているんだよね。それから、2億7,000万円ほどの出資金、これは、資料1にある法人市民税と固定資産税の合計額という考えになる。それくらいになると思う。

【発言する者あり】

それで、報告案の4ページの13行目から「法人税、固定資産税で約2億8,000万円の収入があるものの、出資金、補助金で約4億2,000万円の支出があり、約1億4,000万円のマイナス」って言っているけど、1億4,000万円がマイナスなの。

○山本半治委員長

半田市に入ったものと、出したもので差し引きすると、そういう数字になるっていうことです。

○榊原康仁市民経済部長

この資料1のデータの中には、昭和61年度から平成9年度の法人市民税のデータがないんですけど、本当はここにも数字があるんですよ。補助金等については、昭和61年からのデータがあるので、これを比べるのはあまりよろしくないかなと。今あるデータと比べているだけなので、想定してどのくらいということ言うならまだしも、ちょっと比べる金額ではないなという気がします。

○新美保博委員

それ以前の数字がわからないんだったら、どれだけ収入があったかわからないんじゃないの。わからないもんで比べて、だいたいアバウトで、イコールでいいなんていう話ではないわけだから。わからないならわからないで、もらった側がわからないっていうこと。

問題は、報告案の4ページの出資金の約4億2,000万円。これは出しているわけだよね。補助金は、約1億4,000万円出しているわけだよね。これ、約4億2,000万円がいいの、支出が。

○山本半治委員長

株の出資金と、補助金という形ですね。

【発言する者あり】

○新美保博委員

確実にこの資料1の金額は、入ってきているお金。

○丹羽英行農務課長

入ってきている納税額です。

○新美保博委員

昭和61年から平成9年、データなしの部分、アバウトでどれくらいになるの。

○丹羽英行農務課長

アバウトな数字自体も、実は把握できていません。税務課の課税のデータと、収納課の方でデータを持っているところの数字をくださいということで、お願いしたのがこの数字です。新美委員が言われるように、だいたい10万円なのかなとか、アバウトな数字自体もわからないというのが、正直な話です。

○新美保博委員

これって、何年保存なの。これ永久保存版じゃないの。課税って。

○丹羽英行農務課長

参考としましては、固定資産税ですと、20年くらいなんですけど、国家賠償法の中では、20年というのが民法上のマックスなので、20年保存が最終限度だというふうに理解しております。

○新美保博委員

逆に聞くけど、知多南部市場に聞いてみたらわからないかな。支払う側だよね。もらった側は、いくらもらったかわかりません。払った側からだったら、これだけ払ったよって。要するに、これっていつからだっけ。

【発言する者あり】

昭和61年から、この間払ったデータっていうのはないわけ。

○丹羽英行農務課長

今新美委員が言われた、その裏側の部分としては、そこまでおさえてないのが事実ですので、確認はいたしますけど、ただ保存として残っているかどうかということまでは、ちょっと今のこの場で、私即答はできないもんですから、そこはご容赦願いたいと思います。

○新美保博委員

なんでこんなことを聞くかって言うと、この知多南部市場が存続するかしない、どういった形態でやっていくかどうか、今ここに来ているんじゃないの。今までどれだけのものを収めたのか。どれだけのものをこちら側が補助金なりなんらかの形で出したのかと言ったときに、出した数字はまがりなりにもわかっている。もらったものがわからないというのは、どう比べたらいい。比べようがない。例えば、この昭和61年から平成9年にものすごく法人市民税があがってたとする。結局売上も関連してくることだから、出来た当初

はどんどんどんどんやって、収益があれば上がってくるときに、利益を生んだというところすらわからないのでは、判断できない。やめていいのかいかなのか。

○丹羽英行農務課長

確かに言われる通りだと思います。私も。ですから、先ほど申し上げましたように、平成9年以前のものも一度確認させてください。景気がいい状態の中で、推移していたかもしれませんし、そこら辺確認しないとわかりません。

○山本半治委員長

さっき20年と言いましたが、実際にいくとあっていいものじゃないかと思うんですけど、どうなんですか。

○丹羽英行農務課長

固定資産税につきましては、要綱適用の中で、国家賠償法の20年というのが、課税の瑕疵というので、訴えられたときに、20年までは課税誤りがあるならばという規定が要綱の中に定めてあります。半田市の場合は、ですから、20年までのデータは、持っているというふうに理解していただきたいと思います。

○新美保博委員

例えばその数字がわからないんなら、この報告書に書くべきだと思っているよ。本当にデータが無いから判断できない。どれだけ市場がその当時貢献してくれたのかすらわからないってことだって書かなきゃいかん。そうすると文言が変わってきちゃうって言うてる。次の人件費、平成7年の13期から14期の間に、これが約1,600万円から570万円になったっていうのがよくわからない。それから約600万円だった平成14年度の20期から平成15年度に約1,500万円になった。これもよくわからん。臨職は、このとき倍になっている。ずっと見ていくと倍になったりどうこうしている。当然理由があると思う。1人増えました、2人増えましたっていうそんな理由ではないと思う。この人件費って市が出してるんだよね。補助金という形で。何年か前までは出してたんだよね。人件費相当分を補助金として出してるんじゃないの。

○榊原康仁市民経済部長

確認したところ、市場長と臨時職員のお金は、知多南部市場で出しています。市として負担しているのが、派遣で他に1人、ずっと派遣していたと。平成14年まで派遣していて、平成15年で派遣をやめたそうで、その時に、この1年だけ補填しているということです。資料2の1を見ていただくと、職員の派遣引上げによる補助金っていうのがあって、これは、これまで1人市の職員を派遣していたそうです。平成14年度までやって引き上げたものですから、その部分をここで補填したということは確認しました。平成14年度までは市の職員を1人派遣して、その部分は市のお金ということです。資料3の表の、市場長と臨職の合計額というのは、知多南部市場が負担をしていたという形です。

○新美保博委員

経営改善補助金ってあるよね。約1,200万円前後出していたやつ。この資料見ると、平成4年から出している。これとは別に、派遣職員の給料は出しているってこと。

○榊原康仁市民経済部長

1人分出しております。平成14年まで出していました。

○新美保博委員

それはどこに載っているの。そのお金はどこにあるの、数字が。

○榊原康仁市民経済部長

その数字が、人事課に確認したところ、データがなかったのではなかったということです。

○山本半治委員長

しばらく休憩します。

午後1時21分 休憩

午後1時38分 再開

○山本半治委員長

再開します。

○新美保博委員

完全民営化は、知多総合ありきか。または公募するのと言ったところ、知多総合を想定しているを書いてあるけども、今から、短期借入金で3億円あるなかで、借金を抱えている第3セクターを作っているわけだ。半田市と知多総合で。今からスタートしようとしている。半田市が、その3億円で手を切っちゃうということであれば、例えば3億円の借金は半田市が肩代わりします。尚且つ、土地は半田市の所有に、それは、68対32になるかもしれないけど、少なくとも68%分は無償譲渡しますと。だから、知多総合の代わりにだれかやりませんかという、知多総合の代わりと言わなくても、公募しませんかと言ったら、公募できるんじゃないの。知多総合に無償譲渡をするという条件をつけたら、そりゃ何もできない。そうじゃなくて、公募をするんだと。公募しなきゃいけないのと、今までの経営に参画してた知多総合にももちろん責任があるし、絵を描いたのは、あそこが描いているわけだから。知多総合という1つの受け皿であって、他のところにも借金はありませよと。このことについては。土地は無償で半田市が使わせてくれるんだよと言えよ、手をあげるところは出てくるんじゃないの。そのかわり、悪いけど今から発生する修繕やなんかは、あなたたちの責任でやってくださいと。そこで何らかの方策を作って、市場としてやれば補助金の返還もないわけだから、そこで利益を生めば、じゅうぶん儲けていただいてけっこうだよということでもいいんだろうし、それから先、もともとなんの計画もないのがおかしい話なんだけど、計画があって利益が出るようであれば、その分だけのものは、いくらか納めてよということころまではやれよと。まとめて言えば、なぜ公募にしないの、できるんじゃないのということ。

○榊原康仁市民経済部長

新美委員が言われるとおり、借金を市が肩代わりすると。あと、修繕の話は非常に難しい話だと思いますが、修繕の部分でも受けれると。それを受けてでも、3億円の借金を返済してくれれば受けれるよというところがあれば、可能だとは思いますが。

○新美保博委員

それこそなんの商売をやる人でもそうだけど、設備投資っていうのは必要だと思う。今例えば、何の借金もないと言ったときに、あの建物じゃいやだと。土地はあるけど、あの建物じゃ使いづらからいやだから、全部ぶち壊しちゃって、きれいに、自分たちの都合のいい建物にして、人が集められるようにしたらどうか。尚且つ、あそこで販売もできれば、食べることもできるように作り上げてしまう。そこで借金が3億円できたとしても。

それは自分たちの借金だから。前の3億円を積み残して、3億円足すわけじゃないんだから。6億円になるんじゃないで、前の3億円はないわけだから、その分だけ例えば、3億円の赤字を背負って今の建屋でやるよりも、それはないものとして、自分たちで建てた方が絶対にやりがいはあるだろうし、公募もしてくるだろうと。そこの3億円の踏ん切りをするかしないか。それが今3億円やらなきゃいけないのか、5年かけて3億円を、延命して、尚且つプラス2億円で、5億円使っちゃうことを考えるのか、3億円を捨てちゃうのか、どっちかのことだと思う。その判断を、市長がするかしないかだと思う。お金の使い方っていうのは、いろんな考え方だから、そうするとすぐ出てくるのが、中退金の話なんだけど、一旦どーんとやっちゃって、これで終わるのがいいのか、10年辛抱して、5,000万円ずつとして5億円としてやめるのがいいのかというのは考え方。この市場の考え方は全然わからない。2年や3年でそれができるとは思えない。尚且つ、やってる奴が悪い。行政の素人と商売人がやっている。これをリセットしないと、どこまでいっても半田市が食べ物にされるかわからん。食べ物にされても半田市の行政はいい。自分のところの傷は痛まないんだから。

○山本半治委員長

この3億円の借金を減らすためには、この中にもうたってあるけど、土地を何とか売るなり、有効にということがうたわれているわけですけども、それは今までやろうと思ってもやって来なかったけど、やろうと思えばやっていける、やっていかないといけないと思っただけど、その辺のことはどの様に市場が考えているか、聞いていますか。

○丹羽英行農務課長

私の解釈では、先ほどの南部市場の土地の部分を、例えば半田市に株と交換したその部分に対して、固定資産税が1,200万円相当額、それが半田市の持ち分になれば非課税になる。その部分の1,200万円に対して、その部分が経費として浮く。それを経営状況の改善の中でもっていくというふうに、私は市場長の話聞いた限りでは、それが委員長の言われたのがそういうことだと理解しています。

○山本半治委員長

土地を、例えば売ったりとか、どこかに使ってもらうことによって3億円を減らせないかということなんですけど。

○丹羽英行農務課長

そういう考え方もありますし、今言われたようにその土地を他のところに売って、資産として活用するということもあると思いますし、建物を売るというのも、一つの視野の中に入っているのかなというふうに私は思っています。

○山本半治委員長

中川委員がさっき、土地をどうのこうの言ってたのは、そういうことでしょ。

【発言する者あり】

しばらく休憩します。

午後1時47分 休 憩

午後1時50分 再 開

○山本半治委員長

再開します。具体的に、どういうふうに、それこそ、新美保博委員の、3億円の半田市

が出せば、借金が減るわけだ。だけど、これも勝手に、提案としてはできるかもわからないけど、その辺だよな。

○新美保博委員

持参金って言ったけど、持参金と捉えられてもしょうがないけど、ここで3億円やって、きれいにしましょうよと。手切れ金って言った方がいいのかもしれない。きっちりしようよと。後のことは、知多総合なら知多総合でいいんだわ。責任もってやってくれよと。いつまでも泣きつくなど。またこれで修繕とか。期間中に支出が生じた場合に5億円払いますよと。

【発言する者あり】

それをやって、今決断をする時だと。3億円投げて、ここからは撤退すべきだということを書いて、知多総合にやってくださいなんてこと、口が裂けても言っちゃいかんから、手切れ金を3億円出します、赤字は無いです、土地は、例えばこうなった以上、当然出資金の分だけは、約68%分だけはいただきますよと。権利としてね。その分については、無償譲渡しますから、是非、市場として、買受人をやりませんかということ。そういった公募をした買受人にすべきということを出す。それくらいのことを言わなきゃ。

【発言する者あり】

○山本半治委員長

しばらく休憩します。

午後1時53分 休 憩

午後1時57分 再 開

○山本半治委員長

再開します。

○新美保博委員

知多総合に責任はすごくあると思うけども、知多総合を非難しているように聞こえるけど、非難している部分もあるんだけど、じゃなくて、赤字補てんを市民の税金でやればいいという感覚で経営をされちゃ困るということ。第3セクターとか、形態は別にしても、やっぱり赤字が出た責任は、そこを運営していた人の責任であって、今言う借金が3億円あるとするなら、その借金を減らす努力というのは、自分たちの企業努力だよな。企業として努力でまかなってもらわないと、赤字を出してもいずれは市役所が面倒みってくれるなら、そういう体質で今までずっと来ちゃっていたから、にっちもさっちもならんとこまで来たということをも、反省してもらわないといかん。それを知多総合の間瀬社長は常々言っておった。言ってたけども、他の2市4町の首長には理解されずに、全部後送りしてきたから、こういう状態になった。もうそこまではいかない状況だと思うので、半田市が1人で背負うことになっちゃうので、2市4町が入っている状態だったら考え方も違ったけども、すべて半田市が背負う話にはならない。そうでないと、市民に説明がつかない。その説明をするためにも、今の状況を報告書に書いて、提言としては、反省はもちろんすべきだし、公募にして、市民に理解を得られる形の市場であってほしい。決して市場を潰せって言っているわけでもない。どうしても市場が、40億円っていう売上だけ見てもしょうがないんだけど、本当に市場が必要ということなら、今度は逆に言えば、そこを使う人、あそこで食べる、野菜や何かを食べる市民もそこを使わないと、というところも大事

という考え方としてあると思う。つぶれちゃってから、近くにスーパーが無くなって困ったなんて言ってもはじまらない。普段は安いところばっか行って、市場が無くなってしまうということは、無くなる原因は、その人たち、買受人と仲買人の話。町の八百屋さんで買う人たちにも、例えばもし潰すなんていうことになったときには、やっぱり運動起こしてもらわないとしょうがない。3点、潰すことが目的じゃない。市場は続けなきゃいけない。ただし、今までのことを考えると、今まで以上に努力をしなければいけないことがある。今までやってきていない分努力をしなければいけない。安易に税金で補ってもらえなんて考えではやっていけない。それは市民の理解を得られないという思いから、公募くらのことは行っていい。

○山本半治委員長

公募は来年度中っていうことかな。

【発言する者あり】

○中川健一委員

今後のことは、確か前回、入れる、考えるっていうふうだったと思いますけど、そもそも今回入ってないんで。

○山本半治委員長

これからの話になるから、入れてない。

【発言する者あり】

○中川健一委員

前回の議論が、多少踏まえられてない部分があるのかなと感想を持ちました。それと、文章の内容のことなんですけど、4ページ目の13行目、収支のところなんですけど、設置費用を入れておかないと、設置するときにくらかったのか。つまり土地を半田市で買ったのか、知多南部市場で買ったのかわかりませんが、土地を買うのに税金をいくら使って、建物を作るのに、税金をいくら使ったのか。半田市税がいくらだったのか、書いておかないと。

○山本半治委員長

それは知多南部市場の借金でしょ。半田市としては出てない。だけど、ここの部分は不透明なので、前半の何年か分が。

【発言する者あり】

他にありませんか。屋根貸しとか。

○新美保博委員

その太陽光も、1つの方策としてありだと思ふ。無いわけじゃない。今そういうことになったとしても、たちまちあそこを潰して、展開はもう少し先だとするなら、考えなきゃいけないだろうし、逆に、もし展開が早いようなら、ちょっと待てよという部分もあるだろうし、ここでやるかってなると、どうかな。公募の中の提案として、そこに放り込んだ方がやりやすいのかもしれない。文章の文言のことだけど、前の老朽化建築物の報告にも書いてあったんだけど、何何をすべきと考えます、っていうの、考えますっていうのは、聞いた方が考えましたで終っちゃうから、です、ます、きっちり、である、すべきである、というふうに、提言と言いながらも、これをやってくれて言っているわけだから、考えますじゃなくて、そういうことで、それぞれ結んでおいてほしい。それと、3億円を25年

度どーんと出すか出さないかというところで、よっぽど腹をくくった提言になると思う。2つの考え方があるわけ。公募にすべきと、平成26年度に公募にすべきと。公募にするんだったら、手を挙げる人がいないでしょと。だから今のままにしようという考え方がある。そうじゃなくて、公募をするためには、これとこれを外す、こういうことをするから公募できるでしょという考え方があると思う。この公募ということを考えなければ、どっちも出てくる。大胆に平成26年度に公募して、市場を経営すべきでいいんじゃないの。できなけりゃやめてちょうだい。

○山本半治委員長

他にありませんか。当局の方はなにかありましたら。

【「ありません」という声あり】

あと、前半部分の視察の意見ということで、これは皆さんの意見を出ささせていただきましたので、これも視察についてということで、整理させていただきますので、よろしいですか。委員の意見というところ、これも短くしたいと思います。

【発言する者あり】

今意見を書いてあるだけだから、もう少し整理します。老朽化建築物についても、整理して簡潔にしていますので。

【発言する者あり】

その中で、新美委員からも話が出てきたけど、一宮市の市場、日曜朝市って、ほんとみんないいぞと、人を集めることがいいぞっていう話だった。だからそれは、あのときの皆さんの意見なんだけども、今回これから、やっていくためにその辺はどうなのかな。提言として、せっかく行ってきていいぞという話なんだけど。しばらく休憩します。

午後2時13分 休憩

午後2時15分 再開

○山本半治委員長

再開します。皆さんからいただきました貴重なご意見を、整理させていただきました、作らせていただきます。最終的な報告が5月15日です。

【発言する者あり】

ちょっと時間をいただいて、皆さんに送らせていただいて、意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○新美保博委員

4ページの7行目、「以上のことを踏まえて以下の提言を行います。」を切ってしまうと、その下の意見が出たことにしておけばいい。こういう意見が出た結論として、提言、公募にすればいい。

【発言する者あり】

提言としては、平成26年度から公募すべき。

【発言する者あり】

確かに、3か年の経営計画は必要だと思うけど、それも公募で聞くと。

【発言する者あり】

○山本半治委員長

以上で委員会を閉会します。お疲れ様でした。

午後2時17分 閉会